

# さま こ ひつじ イエス様の小羊

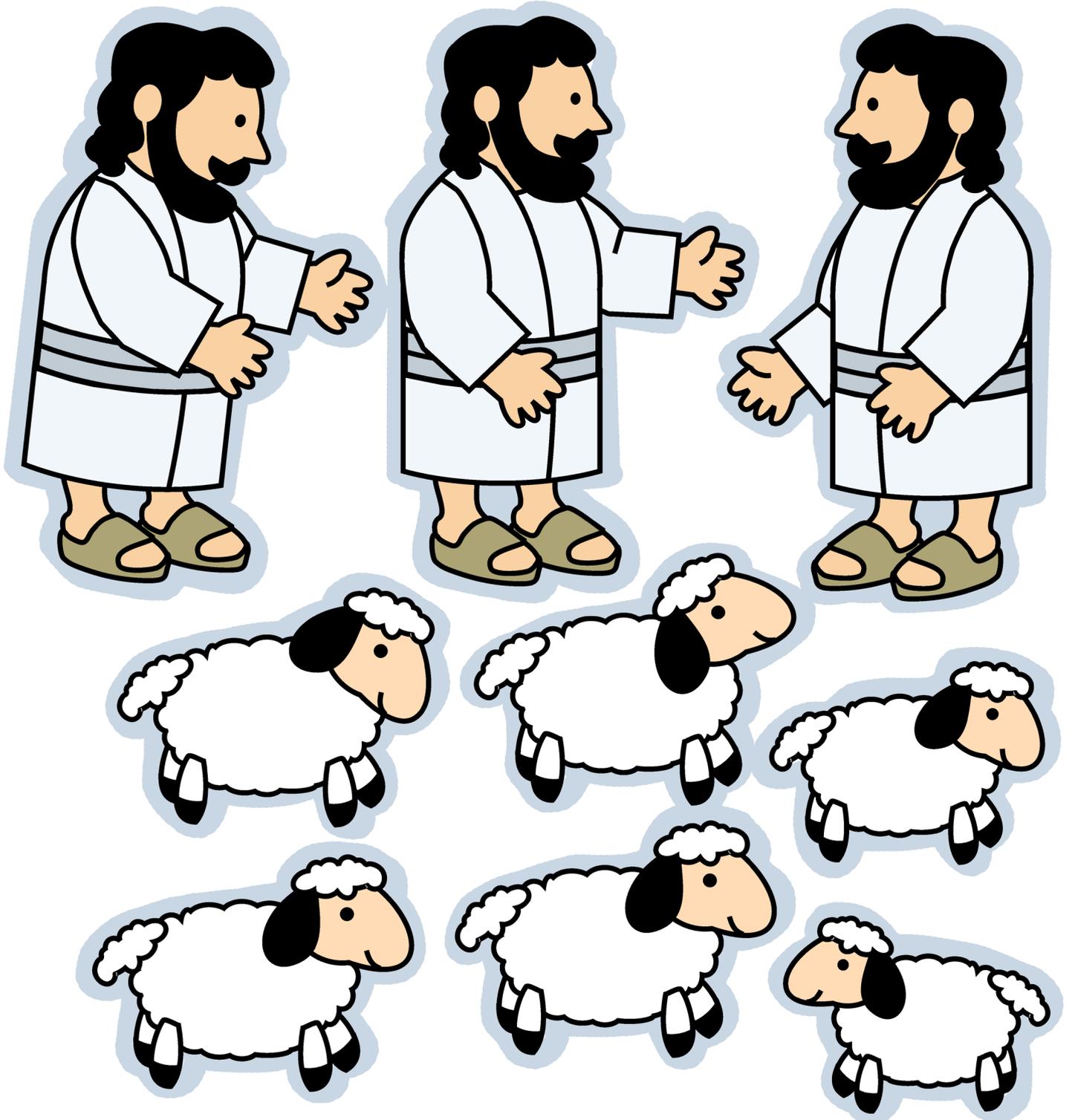
## せいしょものがたり ミニ聖書物語

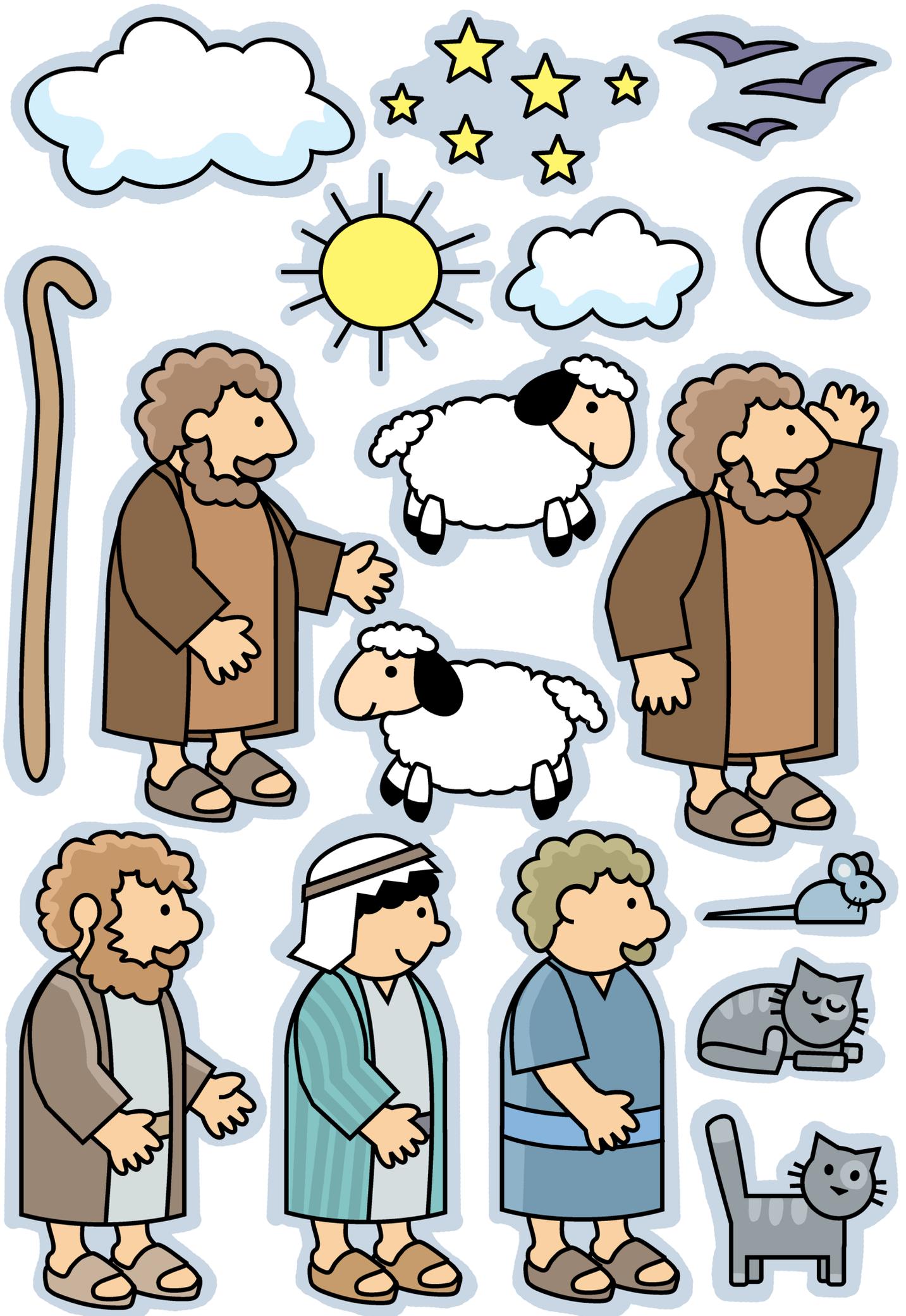
フランネルグラフ

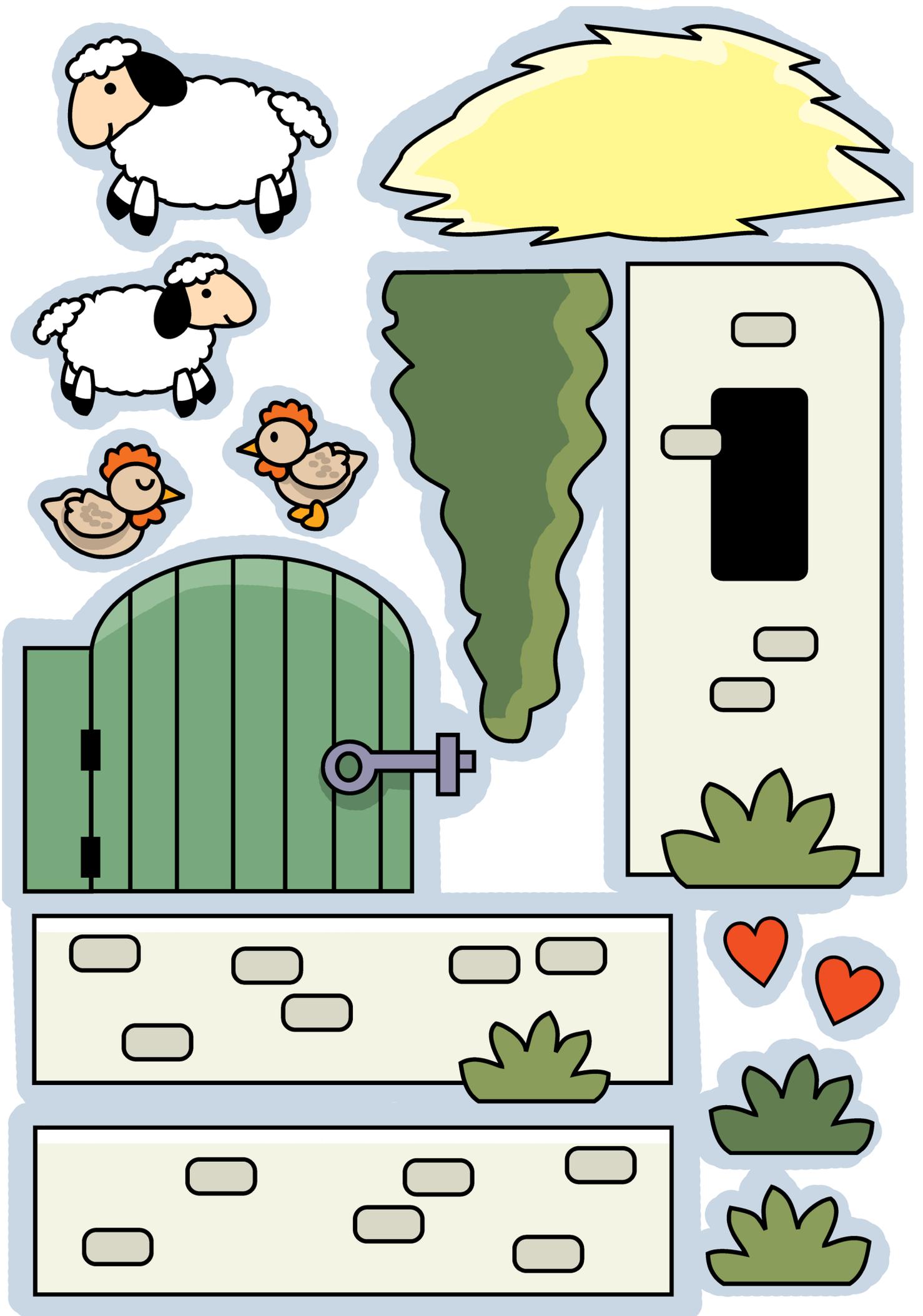
ヨハネによる福音書10:1-16とルカによる福音書15:4-7に書かれているお話の再話

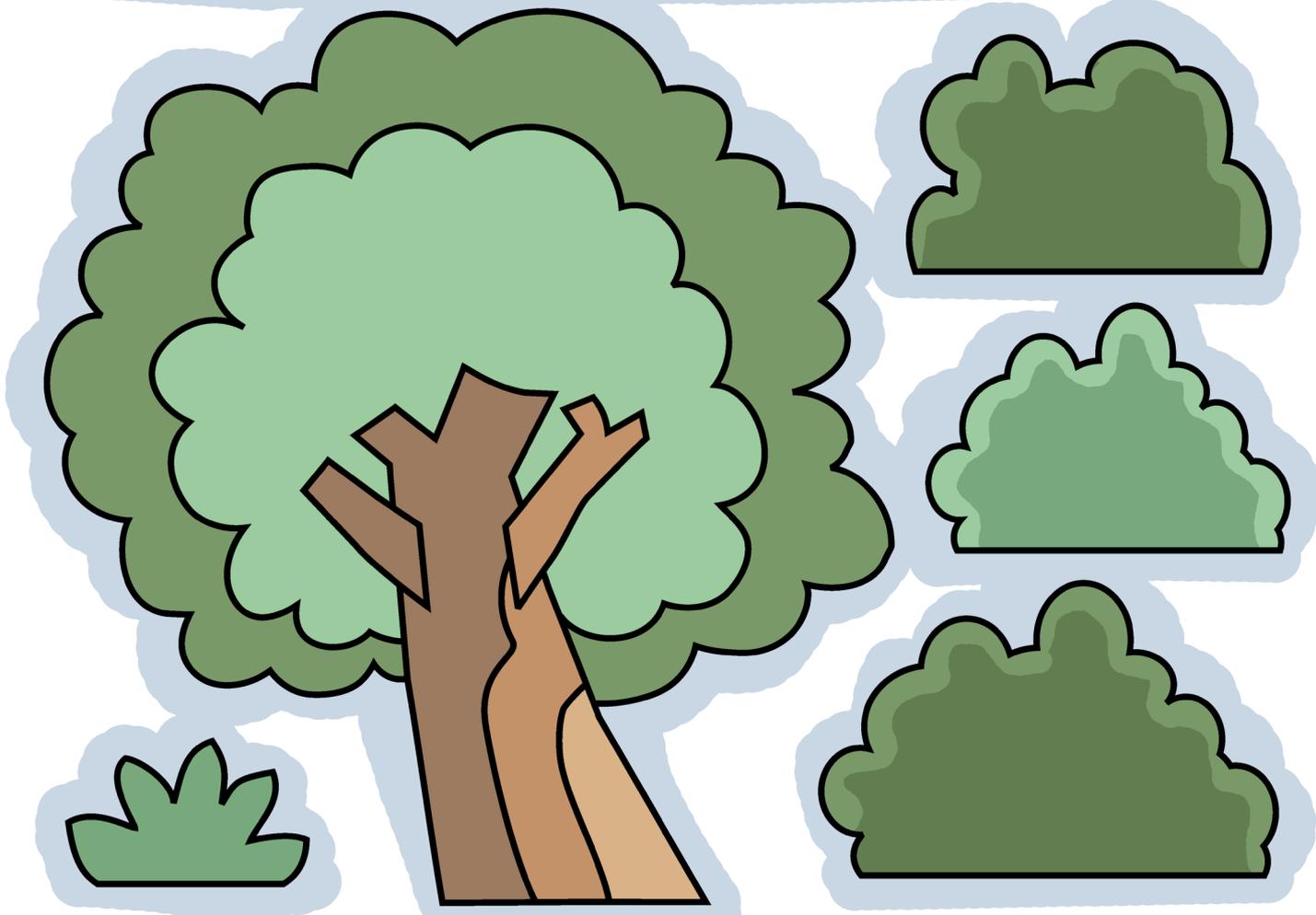
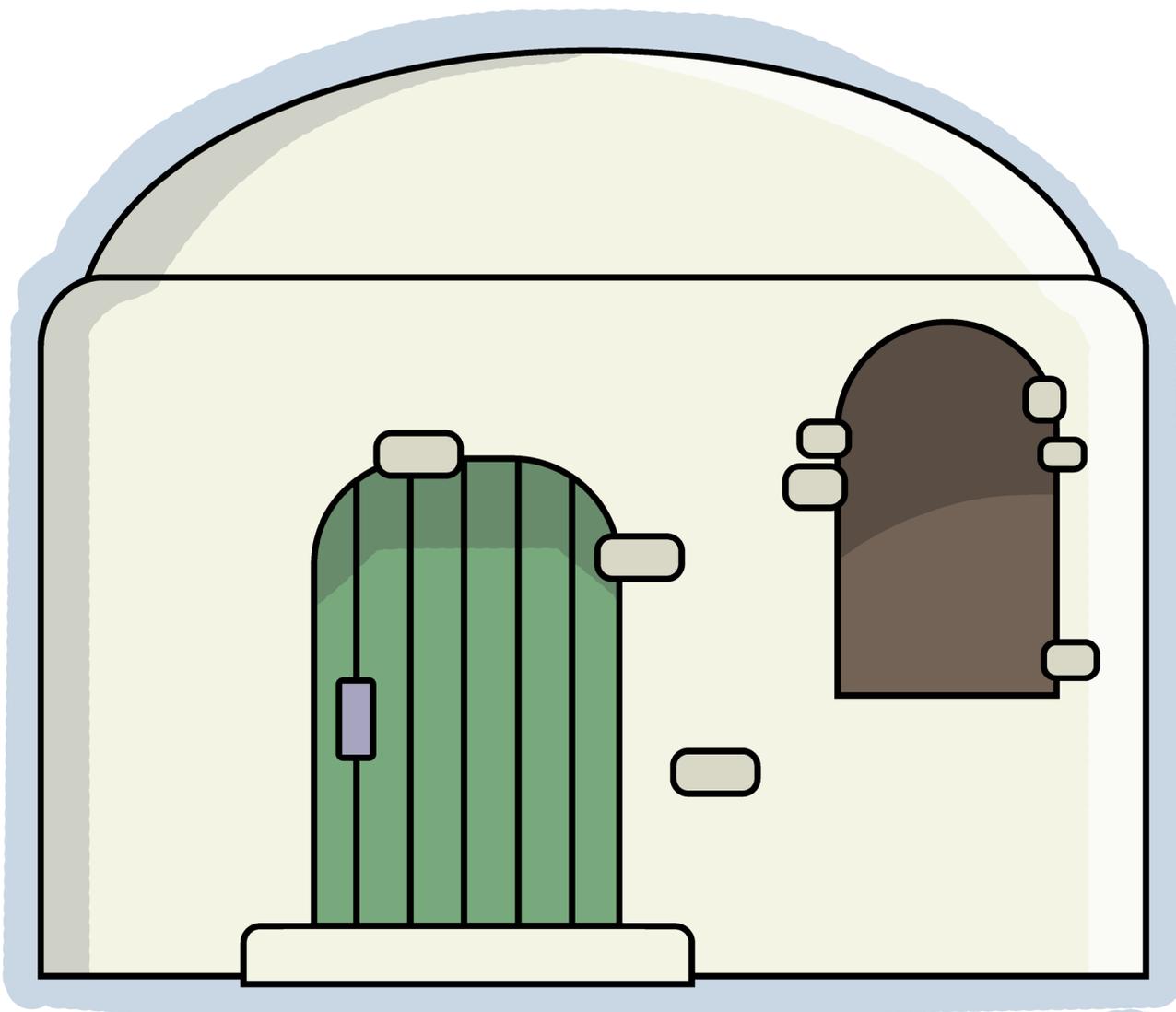
フランネルグラフの表側に透明な接着シートを貼る。各ピースを切り抜く。各ピースがフランネルボードにつくように、裏側にはサンドペーパーかフェルトを小さく切ったものを貼りつける。このフランネルグラフを使って、まい子の小羊のお話をしてみよう。ヨハネによる福音書10:1-16やルカによる福音書15:4-7から読んでもいいし、このミニ聖書物語のお話をそのまま読んでもいいよ。

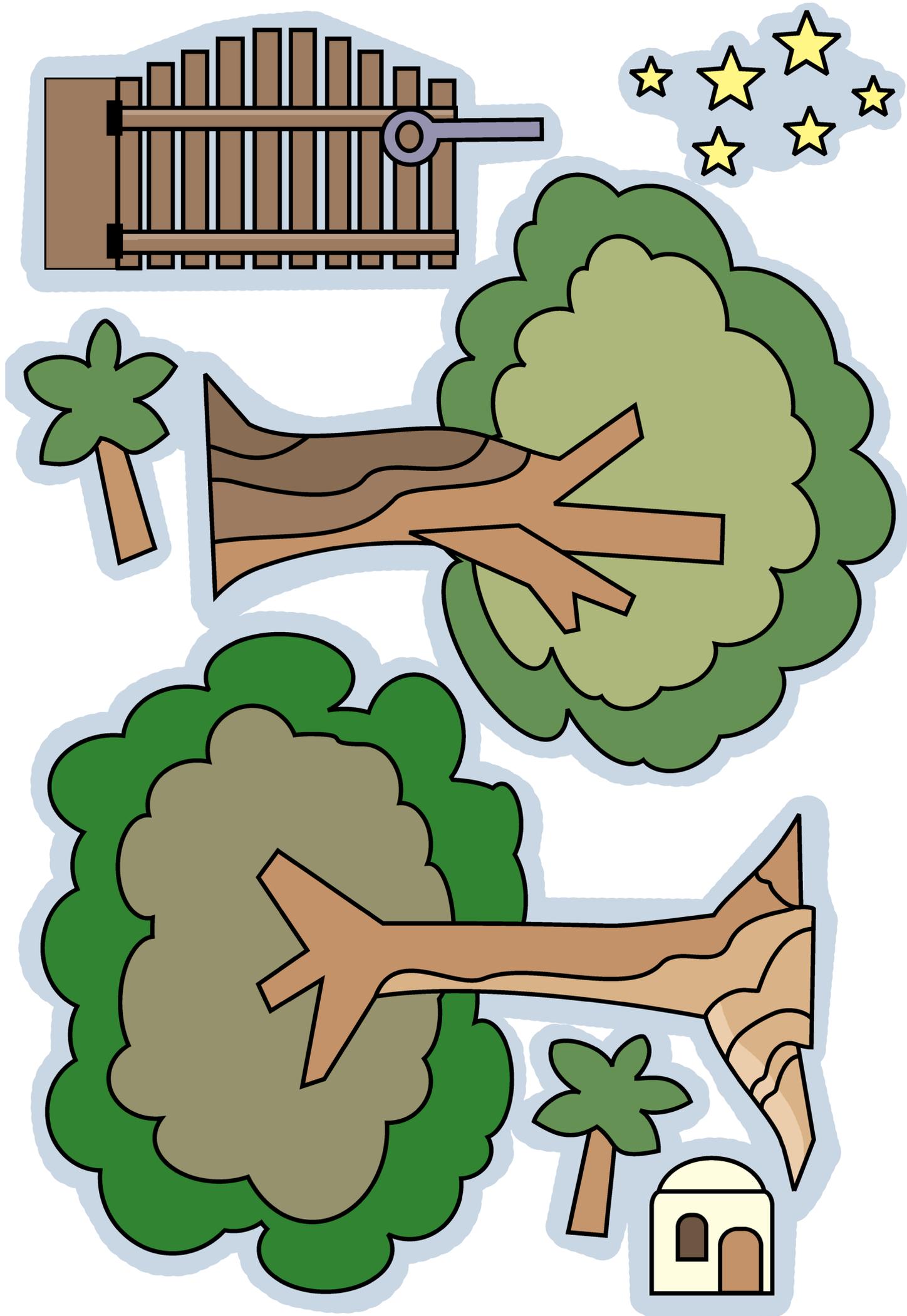
このページをコピーして、自分のオリジナル・リーダーを作ったり、ポスターやモービルにすることもできます。













# イエス様の小羊

ヨハネによる福音書 10:1-16とルカによる福音書 15:4-7に書かれているお話の再話

イエス様は、良い羊飼いなんだ。ご自分の羊の1匹1匹の名前を全部、ちゃんと覚えておられるんだよ。そして、ご自分の羊たちも、イエス様を知っているんだ。

イエス様は、羊の囲いの門の所に立たれる。イエス様は、彼の囲いの門から中に入りたがる小羊はだれでも、世話してくださる。そしてその羊たちも、救われるんだ。羊飼いは、自分の羊が必要としているものはすべてあるかどうかを確認する。

ある時イエス様は、100匹の羊を持っている人のお話をしてくださった。毎日夕方になると、彼は自分の羊が1匹残らず牧場から帰ってきたかどうかを確認するために、1匹1匹数を数えるんだ。

ところが、ある日の夕方、羊の数を数えてみると・・・。「大変だ、羊が1匹足りない！」羊飼いがさげんだ。

羊飼いはすばやく囲いの門を閉め、まい子の羊を見つけようと急いだ。そして、

暗やみの中を、まい子の羊をさがしに出かけて行った。羊飼いは、そこらじゅうをさがした。森の中も・・・丘の上も・・・岩と岩の間もだよ。そして、ついにまい子の小羊を見つけたんだ！

羊飼いは大喜び。羊を自分の肩にのせて、羊の囲いまで連れ帰ったよ。ついに、まい子になっていた小羊は、再び自分の安全な囲いにもどって来た。友だちの羊がいる、自分の家にね！

イエス様は弟子たちにこう言われた。「この話をしたのは、わたしがみんなのことを気にかけていることがわかるためだよ。」

イエス様は、その羊飼いたいなものなんだ。イエス様は、たった1匹の小羊だって、まい子になってほしくはないんだよ。イエス様は、いつだって君たちの世話をしてくださる。君たちのことを、とっても愛しているからね。

おわり